

人口 484,418人 (+62)  
 男 235,248人 (+45)  
 女 249,170人 (+17)  
 世帯数 175,972 (+114)  
 住民基本台帳による。( )は前月比

平成7年  
 10月22日  
 第1495号

# にいがた



発行日 毎週日曜日 発行 新潟市 〒951 編集 総務部 広報課  
 学校町通1-602-1 印刷 印刷 第一印刷所

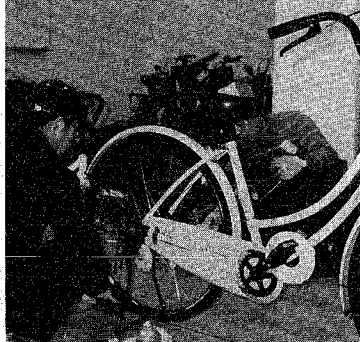
## 日本女性会議'95にいがた

### 男女平等社会の実現を アピール



制作劇で問題を提起

日本女性会議'95にいがたが「ともにつくる社会」をテーマに、十月十二、十三日県民会館など六会場で開催された。参加者は全国から過去最多の二千四百人が集まりました。大会は九月に中国・北京市で開催された第四回世界女性会議後の開催とあって、各会場は熱気あふれるものになりました。十二日は世界女性会議の報告のち、実行委員の手で演じられた制作劇「演じたらずーっと句」には長谷川市長、斎藤良子実行

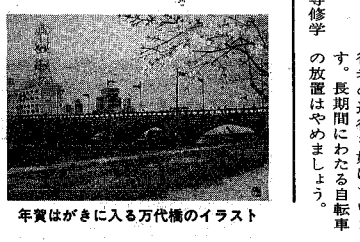


シルバー人材センターで点検・整備される放置自転車

市では、放置自転車の有効利用と放置防止を訴えようと、放置され引き取り手のない自転車を再生し、十一月一日から販売することにした。また、外国人留学生には、大学や専門学校を通して再生自転車を無料で貸し出します。

新潟駅前や道路上に放置され、保管期間の六カ月を経過しても引き取り手のない自転車の数は年間約千二百台。自転車は処分しますが、中には再生すれば利用できるものもあります。市では、資源の再利用を図るため、放置自転車を県自転車軽自動車商協同組合と市シルバー人材センターに無償で引き渡し、点検・整備した後、販売してもらいます。

販売は「市リサイクル自転車取扱店」の表示のある自転車販売店と市シルバー人材センター北ワークプラザ(松和町)で行います。初回は四十五台を一万円以下(消費税・防犯登録などの費用を除く)で販売しま



年賀はがきに入る万代橋のイラスト

市では、市のイメージアップを図り、全国規模で知名度を高めるため、郵便局の協力を得て「市オリジナル年賀はがき」を制作し、十一月六日から市内郵便局で発売します。はがきには第一回の市都市景観大賞に選ばれた市のシンボル、万代橋が描かれています。

はがきの発行枚数は百五十万枚で一枚五十円、数に限りがありますので、予約や窓口での販売枚数は制限します。市オリジナル年賀はがきをご利用ください。(市内線2512番)へ問い合わせ。観光物産課

市・県民税 納期限は10月31日  
 忘れずに納めてください。納税には便利な口座振替をご利用ください。問い合わせ 納税課(市内線2933番)へ

園芸センター  
 申し込み きょう22日から電話で同センターへ  
 園バ(講座)〜秋のバラの手入れ 10月25日午後1時半〜3時半  
 日定 先着50人  
 園小品盆栽講座〜飾りと冬越し 10月26日午後1時半〜3時半  
 日定 先着30人  
 ※小品盆栽展を10月28・29日午前9時〜午後4時半まで開催

## 放置自転車をリサイクル 11月から自転車店で販売

校に通う外国人留学生に再生自転車七十台を無償で貸し出します。無期限で貸し出します。自転車は、市から助成金を受け、同協会が移管し、貸し出しは、同協会が大学、専門学校を通して行います。問い合わせ 同協会(2512727)へ

## この道一筋 ④

洋服仕立て 佐藤虎作さん(68歳、林川岸通1)  
 昭和二十五年に独立。関東甲信越、黒川川に入道。品位と風格がある作品と評価される。

「生地は生きています。毎日が研究の連続」と、した。終戦もないころ謙虚に語る佐藤さん。同じ型紙の洋服を仕立てることも素材によっては言うことを聞いてくれないこともしばしば。「しかし、そこが腕の見せ所と、両親の薦めで洋服仕立ての仕事についていたのは十四歳の時。店の掃除や兄弟子の小間使などから始まった修行時代は、給料一日五十銭ほどどのくらい程度だったのか。昭和二十五年に独立。他川端にあつたマー

「生地は生きています。毎日が研究の連続」と、した。終戦もないころ謙虚に語る佐藤さん。同じ型紙の洋服を仕立てることも素材によっては言うことを聞いてくれないこともしばしば。「しかし、そこが腕の見せ所と、両親の薦めで洋服仕立ての仕事についていたのは十四歳の時。店の掃除や兄弟子の小間使などから始まった修行時代は、給料一日五十銭ほどどのくらい程度だったのか。昭和二十五年に独立。他川端にあつたマー

ろがれウイメンズパワー」をテーマに、十月十二、十三日県民会館など六会場で開催された。参加者は全国から過去最多の二千四百人が集まりました。大会は九月に中国・北京市で開催された第四回世界女性会議後の開催とあって、各会場は熱気あふれるものになりました。十二日は世界女性会議の報告のち、実行委員の手で演じられた制作劇「演じたらずーっと句」には長谷川市長、斎藤良子実行

委員長も加わり大きな拍手が送られました。分科会では、「性・人権・自己決定」とセクシュアリティを初めとして取り上げたり、農業と女性「MY Road and MY 労働」など七分科会と真剣に意見が交わされました。十三日には、分科会の報告、樋口恵子京大教授の報告のち、誠のち、あらゆる場への女性の参画を促進するため、クオータ制(割り当て制)などを進めるなど五項目の'95にいがたアピールを採択し、大会の幕を閉じました。

任意の協議会  
 教育・文化など協議会  
 新潟市と黒崎町の合併問題を話し合う任意の協議会「第五回新潟市・黒崎町合併問題協議会」(会長、長谷川市長)が、十月六日に開かれました。今回は、行政制度調整案など出された意見に対する回答などについて、協議される予定です。

市役所・市教育委員会 ☎228-1000 (代表)  
 野球場・テニスコートの申し込み 266-8111  
 園芸センター 266-1034  
 水道局 266-9311  
 市民病院 241-5151  
 東保健所 243-5311  
 石山地区保健センター 266-4450  
 鳥屋野地区保健センター 285-2373  
 北地区保健センター 259-7332  
 西保健所 266-5171  
 坂井輪地区保健センター 260-3255  
 【急患診療(市医師会・県歯科医師会)】  
 急患診療センター 228-2822  
 休日歯科診療センター 283-3030

電話番号案内